



右田ヶ岳

学校教育目標 **自分で考え、行動する右田っ子の育成**
～感動とつながりのある活動を通して～

人は人によって人になる。

上記の言葉は、ドイツの哲学者カントの言葉だそうです。そして、『ヒトが生まれてから「人間」になるには教育が必要となります。絶対的な愛と環境があってこそヒトが人間になるための子育てができるのです。また、「ヒトとしてうまれてきた赤ん坊を人間にすること」が子育て・教育の基本です。』と、九州大学名誉教授 井口 潔 先生は述べておられます。

人間にとって教育がいかに大切であるか、そして、子育てにとっては特に重要であるということを再認識させてくれました。また、何歳になっても、学ぶこと、そして、自分から学ぶ姿勢が、その人の人生を創っていくのだと考えさせられました。

10月に、人権参観日で、4年生以上の児童及び保護者対象として「阿波ひろみさん講演会」を実施しました。阿波先生のお話は、子どもも大人も目頭が熱くなるような、そして、心がドキッとするような大きく心が動いた講演会となったようです。下に載せた感想からも、その心の動きがよく伝わってきます。子どもたちが学校で学び感じたことを、ご家庭で親子で語り合うことができれば、さらに子どもの心に深く残る学びになると思います。もうされているかもしれませんが、ご家庭で話題にしていただけると幸いです。また、親子で聞いて学びを共有できれば、親子の絆もさらに深まることと思います。このような積み重ねが子どもたちの豊かな心を育み、仲間と共に豊かな生活を創っていきける人間を育てていくのだと考えています。どの子もいやな思いをせず笑顔で毎日学校生活を送ることができるよう、学校と保護者、そして、地域みなさんと同じ思いをもって心豊かな右田っ子の育成を図っていきたく願っています。



心に響く「阿波ひろみ」さんの詩です。

子どもたちの感想から

あなたがいるだけで

あなたがそこにいるだけで しあわせだよ
あなたがここに生きてくれるだけで もう充分

あなたが笑う
あなたが怒る
あなたが泣く

あなたがここにいる それだけで嬉しくなる
それだけで心が愛でいっぱいになるよ
そして ふんわり 心が温かくなる

今日もあなたがここに生きていてくれる
今日もあなたの命をだきしめることができる
今日もあなたをこうして見つめてる

なんて大きな幸せをあなたは私に与えてくれるのでしょ
う
なんて大きな愛をあなたは私に運んでくるのでしょ
う

あなたが ただ そこにいるだけで
私の心はいつも愛で満たされるのです
生まれてきてくれて 本当にありがとう
ここに生きていてくれてありがとう

あなたがとても大切なんだよ

10月20日は、命と心のことを分かりやすく言ってくださったので、私は、とても命と心のことがよく分かりました。私は、「もういやだ!」とか「もうこんなのできん。」とかを言ってたけど、阿波さんの話を聞いて、私は、そういうわがままは、もうやめようと思えました。ほかにも、私はいま命と心は、とても大切だと分かりました。ありがとうございました。ありがとうございました。

ぼくは、昨日の講演を聞いて、心は、一度傷をつけるという一生その傷は治らないということを学びました。「心」と書いた紙を切っていて、謝って、テープでとめたけど、まだ紙には傷が残っていました。現実でも、一度人を傷つけたらずっと傷つくだらうと思えました。後略。

「それからが地獄だった。」その言葉が今でも頭の中をよぎります。その言葉が頭をよぎった瞬間、とても悲しい感情が心に何度も何度も伝わってきます。そういつた感情を何度も感じるうちに、ふと頭に浮かんだ言葉がありました。それは、「今ある命、普通に暮らしている命。それは、普通にあるものではない。苦しみながら病氣と戦いながら生きている命もあるのだと。そういつた命もあると知った上で今ある人生を大切に過ごせ。」と、その言葉が浮かんだとき、「これからの命、今よりもっと大切にしないと。」と思えました。阿波ひろみさんの言葉から、今ある命を大切にしようと思えました。

右田小学校 NOW

10/30 夢先生

日本サッカー協会の「こころのプロジェク」夢先生の授業を、5年生が受けました。これは、「夢をもつすばらしさ、夢に向かって努力することの大切さを活動を通して伝える。」ことをねらいとして、日本のトップアスリートが夢先生として授業をするプロジェクトです。

5年1組と3組には、女子バレーボール元全日本選手の杉山祥子さんが、5年2組には、元Jリーガー野田恭平さんが夢先生となり授業をされました。

「夢は、一人で抱え込まずに人に語る方が良い。思わぬ所から、支援・手助け・アドバイスが受けられることがある。そして、夢を語ったら、自分もその気になるし、やる気になる。」等、様々なことを教えていただきました。体験から話される言葉は、説得力がありました。その様子を紹介します。



私は、夢先生の話聞いて、将来の夢に自信をもてました。夢先生が、失敗してもあきらめずに、がんばってきたことを知って、私も見習おうとすごく思いました。自分の夢をあきらめないでがんばろうと思います。

子どもたちの感想から

人生は、右往左往するけど、自分で決めた小さな約束を守り続けられれば、いずれ自分の道が切り開かれて大きな夢の第一歩になると思いました。私は、小さな約束さえ守ることができないけれど、でも、今日、夢先生の話聞いて明日から自分を、そして、心を強くして変えていきたいです。



自信・個性・勇氣

失敗してもあきらめない

「長所は短所に変わりやすい
短所は長所に変わりやすい」

自分との「小さな約束」

縦書きは、多くの子どもたちの心に残った夢先生の言葉です。

自分のNO1をつくる

昨日の自分に勝つ



11/10(金) 防府市小・中学校連合音楽発表会

練習を始めたときから大きく変わった自分の歌声、できなかったことが仲間と協力しながら、日に日にできるようになった事実。発表までの道のりには、個人と集団の素晴らしい学びがありました。そして、当日「Dream&Dream」「小さな勇氣」の2曲を、堂々と素晴らしい歌声で聞かせてくれました。

